

第4回福島市一般廃棄物新最終処分場整備専門家会議

日 時 平成26年7月30日(水)
午前9時30分～午後0時15分
会 場 市民会館 第2ホール
出席者 委 員 7人
事務局 14人

【会議内容要旨】

1 議 事

- (1) 報告事項1 経過報告について(資料1)
- (2) 協議事項1 二次評価・選定方法について(資料2-1、2-2)
- (3) 協議事項2 二次評価について(資料3)
- (4) 協議事項3 二次選定について(資料4)
- (5) 協議事項4 第5回専門家会議について(資料5-1、5-2)
- (6) 協議事項5 埋立容量について(資料6)

【質疑回答要旨】

(1) 報告事項1 経過報告について

[事務局]

資料1説明

[委 員]

質疑なし

(2) 協議事項1 二次評価・選定方法について

[事務局]

資料2-1、2-2より二次評価の採点方法の見直し及び選定方法の確認を行う。

[委 員]

候補地における過去の産業廃棄物処理施設等の建設計画に対する反対運動をどのように評価するのか。

[事務局]

当時の反対理由は、資料に地区情報として記載しております。当時、産業廃棄物処理施設計画があった場所であるため、浸出水処理等に対しては十分な配慮が必要になると考えます。浸出水処理方法を検討することによって問題を解決できると考えられれば、検討の余地があるということで評価していただきたいと思います。

[委 員]

これまでの議論の中でも、オープン型を想定し考え、評価したので、クローズド型もあり得るということになると評価の仕方が変わってくるのではないかと。

〔事務局〕

本日の資料をご覧いただければ、各候補地とも課題があるという印象を持たれたのではないかと思います。当初、市としてはオープン型の傾向がありましたが、それにとらわれ過ぎると選定がせばまるため、クローズド型も視野に入れることにより、評価が変わる可能性もでて選定も広がってくると思います。

〔委員〕

その他についても、議論をしながら進めていくということで、二次評価・選定内容について承認

(3) 協議事項2 二次評価について

〔事務局〕

候補地2についての説明

〔委員〕

地質図から岩質は流紋岩と判断されるが、問題ないか。

〔事務局〕

現地踏査より露頭を確認した結果、凝灰岩です。

〔委員〕

資料について、事実とそれに対する考察が混在していて判断しにくい。評価をするときに事実だけで判断してよいのか。

〔事務局〕

考察的な部分により判断に迷うこともあるかと思いますが、事実を事実として評価し、考察についても考慮していただきながら、それらを委員の皆様判断していただければと思います。

〔事務局〕

候補地3についての説明

〔委員〕

周辺施設では、井戸水としてどの程度の水量を利用しているか。

〔事務局〕

施設規模などからかなりの量と考えられます。

〔委員〕

地域活動に記載されている組織はどのような組織か。

〔事務局〕

地域の方々の活動ではありますが、遊休農地の活用や地域環境の美化に関わっている組織です。

〔事務局〕

候補地4についての説明

〔委員〕

産業廃棄物処理施設計画で反対があった理由とは何か。

〔事務局〕

資料により説明

〔委員〕

近隣に産業廃棄物処理施設があるが、その時反対は無かったのか。

〔事務局〕

以前から稼働している施設であり、最終的には合意に至ったものと認識しております。

〔委員〕

土地の所有者が会社名義になっているとのことであるが、計画を断念した会社なのか。

〔事務局〕

別の会社名義です。

〔委員〕

近隣の産業廃棄物処理施設について、伺いたい。

〔事務局〕

近隣には産業廃棄物処理施設が2つありますが、最終処分場として供用している施設は同一水系ではございません。

〔事務局〕

候補地6についての説明

〔委員〕

既存の産業廃棄物処理施設による公害関係等のトラブルはないのか。

〔事務局〕

特に聞いておりません。

〔委員〕

過去に産業廃棄物処理施設計画の反対をした団体は近隣の団体なのか。

〔事務局〕

近隣に限らず様々な団体から反対が起きました。

〔事務局〕

候補地12についての説明

〔委員〕

この遺跡の文化財は保存が必要か。掘削調査が終了すれば他の用途に使用できるのか。

〔事務局〕

調査をしてみないと保存が必要な文化財なのか、記録保管のみでよいか分からないとの担当課の所見です。

〔委員〕

近隣公共施設の利用状況についてお伺いしたい。

〔事務局〕

資料により説明、施設内での活動がほとんどであると思われます。

〔委員〕

アクセス道路は川の右岸から橋梁をかけてアクセスする案になっているが、左岸をアクセス道路とすることは可能か。

〔委員〕

可能ですが、取付道路が急勾配となり、ルートを選考が困難であると考えます。

〔事務局〕

候補地13についての説明

〔委員〕

地権者数は約20人とのことですが、地元の方か。

〔事務局〕

地元の方です。

〔事務局〕

候補地14についての説明

〔委員〕

資料にハイキングコースに位置付けされていることから調整が必要とあるが、具体的にはどのような調整が必要なのか。

〔事務局〕

ハイキングコースを活用して搬入道路を設置するのか、またはルートを分けるのかというように調整が必要になってくると考えております。

〔委員長〕

最後に全体を通してご意見、ご質問はありますか。

〔委員〕

自然度が高いという表現の自然度とはどのような内容を示すのか。

さらに、候補地14において確認されているウスバサイシンはヒメギフチョウの食草なので、ヒメギフチョウが実際に確認されれば、細心の注意が必要だと思う。

また、アカマツの箇所だけに植栽起源という表現がでてくるのはなぜか。

〔事務局〕

自然度という表現について、環境省の自然環境保全基礎調査における10段階評価を基本としており、ゴヨウマツが確認された場所は自然度9ということで自然度が高いという表現をしています。

ヒメギフチョウに関しては、福島県のレッドデータブックにギフチョウ、ヒメギフチョウ共に記録されており、ギフチョウは一般的だと思い記載させていただいたのですが、ヒメギフチョウに修正します。

三点目の植栽起源（アカマツ）の表現は、スギ・ヒノキであれば植林だということが一見して分かると思いますが、アカマツに関しては自然分布もあり得るため、あえて植栽起源、アカマツ植林と表現をしています。

〔委員〕

今までの議事録等を公開した際に、市民からの問い合わせはあったか。

〔事務局〕

市政だよりやHPで情報公開をしておりますが、今のところありません。

(4) 協議事項3 二次選定について

〔事務局〕採点結果を説明

A評価が委員の過半数を超えた候補地③、⑬、⑭を二次選定する。

〔委員〕

採点結果はホームページ等で公開するのか。

〔事務局〕

選定結果はホームページ等で掲載予定です。

〔委員一同〕

二次選定について③、⑬、⑭で承認

(5) 協議事項4 第5回専門家会議について

〔事務局〕

資料5-1、5-2説明

〔委員〕

上流域の水質調査は必ず実施した方が良いと思う。

〔事務局〕

分かりました。

〔委員〕

専門家会議として、委員が現地調査に同行するのか。

〔事務局〕

現地調査は、11月から12月の間を予定しております。11月に先行してコンサルが現地に入り、その結果をもとに専門家委員に同行していただく予定でありますが、10月予定の地元説明会の開催状況、また地権者の了解を得ないと現地に入れませんので、予定通りにいくよう努力いたします。

〔委員〕

資料5-2の総合評価の中に、景観に関する評価を入れてもらいたい。

〔事務局〕

環境影響の評価項目がありますので、景観に配慮をするような内容としてまとめさせていただきます。

〔委員一同〕

今後のスケジュールについて承認

(6) 協議事項5 埋立容量について

〔事務局〕

資料6説明

〔委員〕

質疑なし